

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
0 建築物の環境品質								3.8
Q1 室内環境			0.40					3.3
1 音環境		3.4	0.15	3.0	1.00			3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1.1.1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00			
1.1.2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1.2.1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
1.2.2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30			
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			
1.3 吸音	システム床による二重床とし、下階への遮音性能を高めている	5.0	0.20	3.0	0.20			
2 温熱環境		3.0	0.35	3.0	1.00			3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	1.00			
2.1.1 室温設定		3.0	0.63	-	-			
2.1.2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
2.1.3 外皮性能		3.0	0.38	3.0	1.00			
2.1.4 ゾーン別制御性		-	-	-	-			
2.1.5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
2.1.6 個別制御		-	-	-	-			
2.1.7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
2.1.8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		3.0	0.25	3.5	1.00			3.4
3.1 昼光利用		3.0	0.30	3.0	0.50			
3.1.1 昼光率		3.0	0.60	3.0	0.50			
3.1.2 方位別開口		-	-	3.0	0.30			
3.1.3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	4.0	0.50			
3.2.1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
3.2.2 昼光制御	庇及びカーテンにて昼光制御を行っている	3.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
3.3.1 照度		3.0	1.00	-	-			
3.3.2 照度均斉度		-	-	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-			
4 空気環境		3.0	0.25	4.2	1.00			4.0
4.1 発生源対策		3.0	0.60	5.0	0.63			
4.1.1 化学汚染物質	F の建材を採用し、VOC発散が少ない建材を使用	3.0	1.00	5.0	1.00			
4.1.2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.1.3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4.1.4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38			
4.2.1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.2.2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33			
4.2.3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.2.4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
4.3.1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-			
4.3.2 喫煙の制御		-	-	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.7
1 機能性		4.4	0.40	4.2	1.00			4.2
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.60	4.0	0.60			
1.1.1 広さ・収納性		-	-	-	-			
1.1.2 高度情報通信設備対応	各住戸に100Mbitクラスのブロードバンドが利用可能	-	-	4.0	1.00			
1.1.3 バリアフリー計画	バリアフリー新法の移動円滑化基準を満たしている	4.0	1.00	3.0	-			
1.2 心理性・快適性		5.0	0.40	4.5	0.40			
1.2.1 広さ感・景観	居室天井高さ2.5m以上確保	-	-	4.0	0.50			
1.2.2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
1.2.3 内装計画	湘南リゾートのコンセプトに内装計画を行い、モデルルームを作成	5.0	1.00	5.0	0.50			
1.3 維持管理		-	-	-	-			
1.3.1 維持管理に配慮した設計		-	-	-	-			
1.3.2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.4	0.31	-	-			3.4
2.1 耐震・免震		3.4	0.48	-	-			
2.1.1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2.1.2 免震・制振性能	免震構造を採用	5.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.33	-	-			
2.2.1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3を確保	5.0	0.23	-	-			
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-			
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-			
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.3 適切な更新		-	-	-	-	
2.4 信頼性		3.4	0.19	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備	非常用発電機、地下の浸水防止対策としてからぼり、ポンプ設置等	5.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性		3.0	0.29	3.6	1.00	3.5
3.1 空間のゆとり		-	-	4.2	0.50	
1 階高のゆとり	各住戸の階高を3.0m以上確保	-	-	5.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		-	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	4.4
1 生物環境の保全と創出	プレイロットに水を用いてバードパスとなるよう計画	4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮	C-X内の建築計画、旧鉄鋼工場による鉄骨造のエントランス	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮		4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	店舗を設け、地域の賑わいに貢献	5.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	緑地、水面を確保し、保水性の舗装を行う	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.9
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	4.6
1 建物の熱負荷抑制	省エネルギー等級4を確保	5.0	0.40	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		3.5	0.20	-	-	3.5
2.1 自然エネルギーの直接利用	バルコニーからの自然通風を得るためのルーバーを各住戸に設置	4.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	共用部LED照明、潜熱回収型給湯器、継続的に運用	4.9	0.40	-	-	4.9
4 効率的運用		-	-	-	-	-
4.1 モニタリング		-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制		-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護		3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水		3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2 雑排水再利用システム導入の有無		-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.2	0.63	-	-	3.2
2.1 材料使用量の削減	免震構造により構造躯体をスリム化、内蔵梁による型枠の削減	4.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	バルコニー、エントランス、中庭に再生木を使用	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	二重床二重天井とし、躯体と仕上材を分離	4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.5	0.22	-	-	3.5
3.1 有害物質を含まない材料の使用	接着剤に指定化学材を含有しないものを使用	4.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.3	0.68	-	-	
1 消火剤	ハロン消火剤を使用しない	4.0	0.33	-	-	
2 断熱材		3.0	0.33	-	-	
3 冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮	排出基準以下	4.9	0.33	-	-	4.9
2 地域環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	駐輪場の利便性、駐車場は出入を限定	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	1.00	-	-	
2 振動		-	-	-	-	
3 悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2 曇光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	